

新相模原市観光振興計画（中間見直し版） （案）に対する意見と市の考え方

意見募集期間

平成25年12月16日（月）～平成26年1月22日（水）

意見提出者数及び件数

1人（団体）・1件

提出された意見	市の考え方
<p>潜在的な観光資源の掘り起しや、自然や歴史、文化を生かした体験・交流型観光プログラムによる取り組みとともに、各商店街では、地域の特色を生かした独自販促事業、さらには飲食店が中心となった商品開発や個店連携イベントなどが活発に実施されていることから、商店街と有機的に連携し、回遊性のある新たな観光プログラムにより、入込観光客数の増加、さらには地域への経済波及効果を図ることが極めて重要と考えます。</p> <p>つきましては、地域の観光資源と商店街との連携による新たな観光ルートの取り組みを提案しますので検討願います。</p> <p>例 旅行会社との連携による、JAXA・市立博物館・東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分館等地域観光資源とにこにこ星ふちのべ協同組合の食文化等が融合した新たな観光プログラム。</p>	<p>本計画の基本方針の一つである「都市の魅力と自然資源を生かした観光振興」における施策として「駅前や商業地のにぎわいある地域づくり」を掲げており、商店街のにぎわいは有効な地域資源であるとともに、その活性化は魅力ある観光資源の創出につながると考えております。</p> <p>今後の施策を展開していく中で、商店街を有効な地域資源と捉え、他の観光資源との結び付けによる新たな観光ルートの開発など、さらなる観光振興と商店街の活性化につながる施策を検討してまいりたいと考えております。</p>